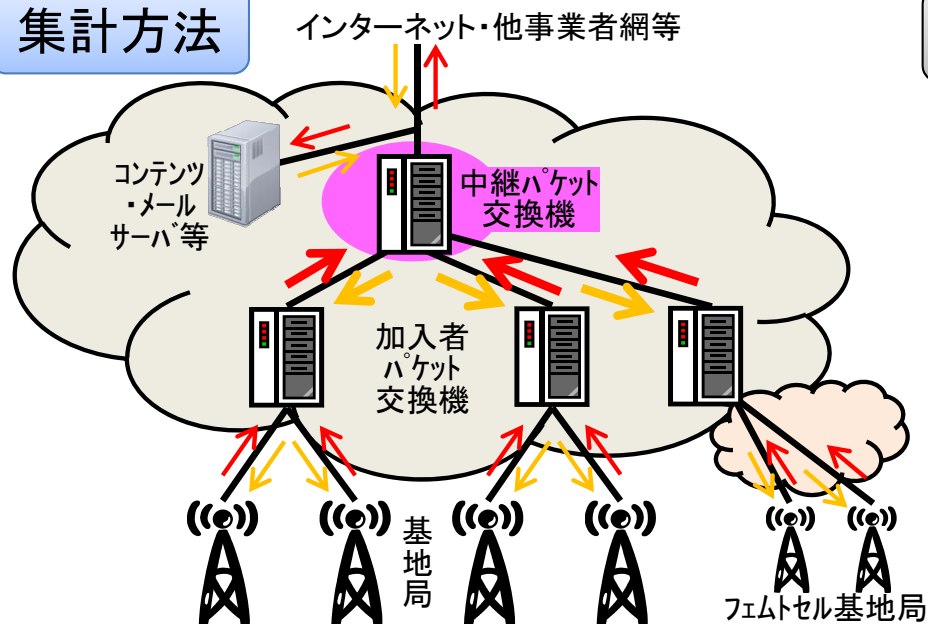


我が国の移動通信トラフィックの現状(平成29年3月分)

近年、データ通信を中心としたトラフィックの増加が、移動通信システムに係る周波数ひっ迫の大きな要因となっていることに鑑み、移動通信事業者5者(NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、UQコミュニケーションズ、Wireless City Planning※)の協力を得て、移動通信のトラフィック量(非音声)のデータを集計・分析したものの。

※平成24年3月分から

集計方法



○中継パケット交換機(GGSN/EPC)相当にて計測・集計

(詳細な計測箇所は各事業者により異なる。)

ー上り・下り別、1ヶ月間、1時間単位で計測し、集計

○次のトラフィックを含む

ーIMT-2000(LTEを含む)のデータトラフィック

ーキャリア内で折り返してインターネット等へ出ないトラフィック

(例:i-mode等のコンテンツ、携帯メール等)

ーフェムトセル基地局の携帯無線通信に係るトラフィック

ーMVNO(仮想移動体通信事業者(L2接続を除く))に係るトラフィック

○次のトラフィックを含まない(中継パケット交換機を経由しないため)

ー音声(通話)トラフィック

ー公衆無線LANを経由したトラフィック

移動通信トラフィック集計値

トラフィック	上り	下り	上下合計
月間通算トラフィック			
平均トラフィック (対前年同月比増加量)	249.0 Gbps (+ 35%)	1,566.6 Gbps (+ 38%)	1,815.6 Gbps (+ 37%)
月間延べトラフィック	83,367 TB	524,498 TB	607,865 TB
1加入者当たり (計:210,609,980 加入)			
平均トラフィック (対前年同月比増加量)	1,182.3 bps (+ 23%)	7,438.4 bps (+ 25%)	8,620.7 bps (+ 24%)
月間延べトラフィック	396 MB	2,490 MB	2,886 MB

○平成29年3月の移動通信トラフィックは、平均1,815.6Gbpsである。

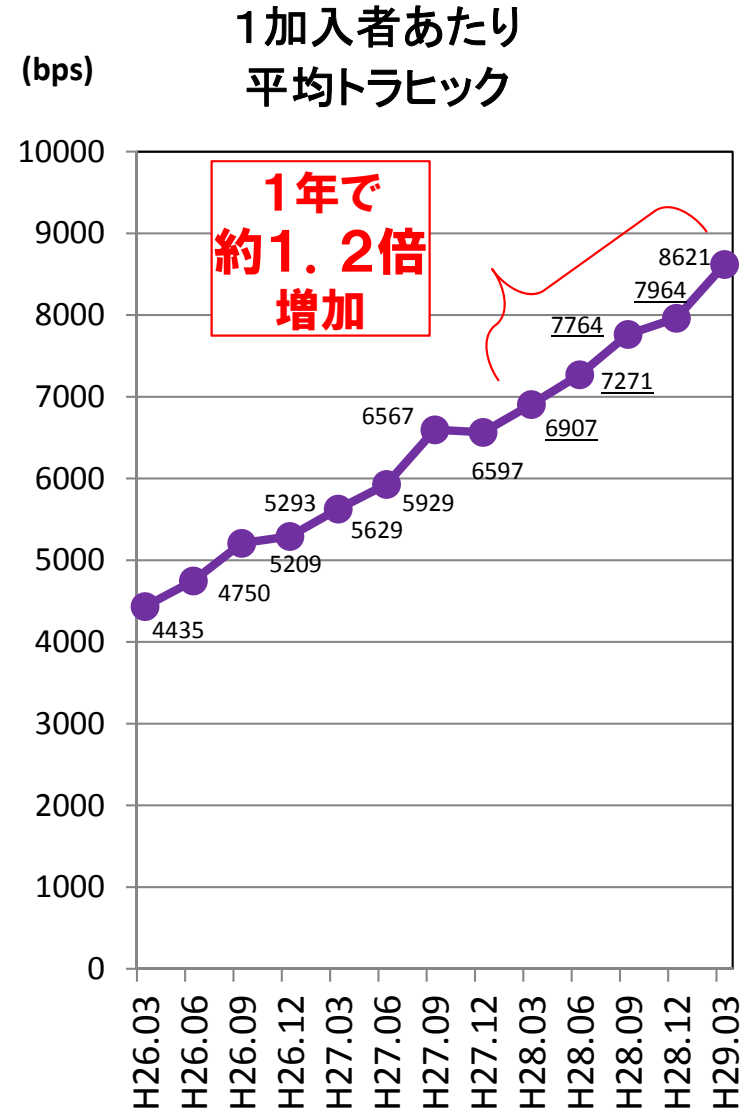
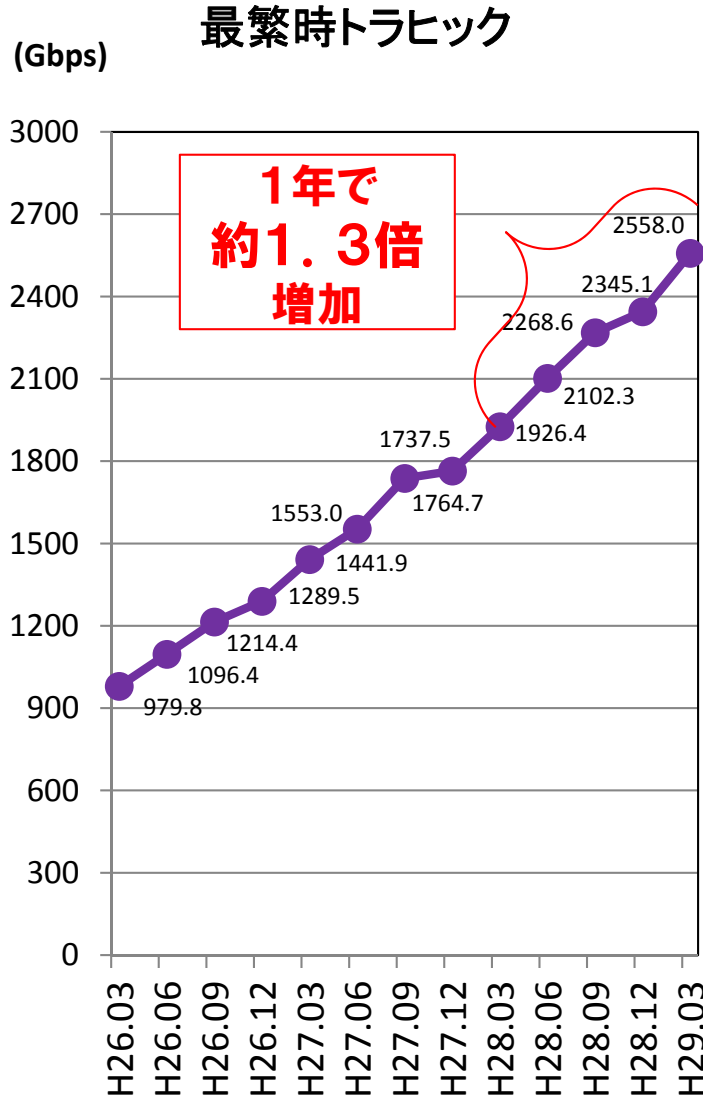
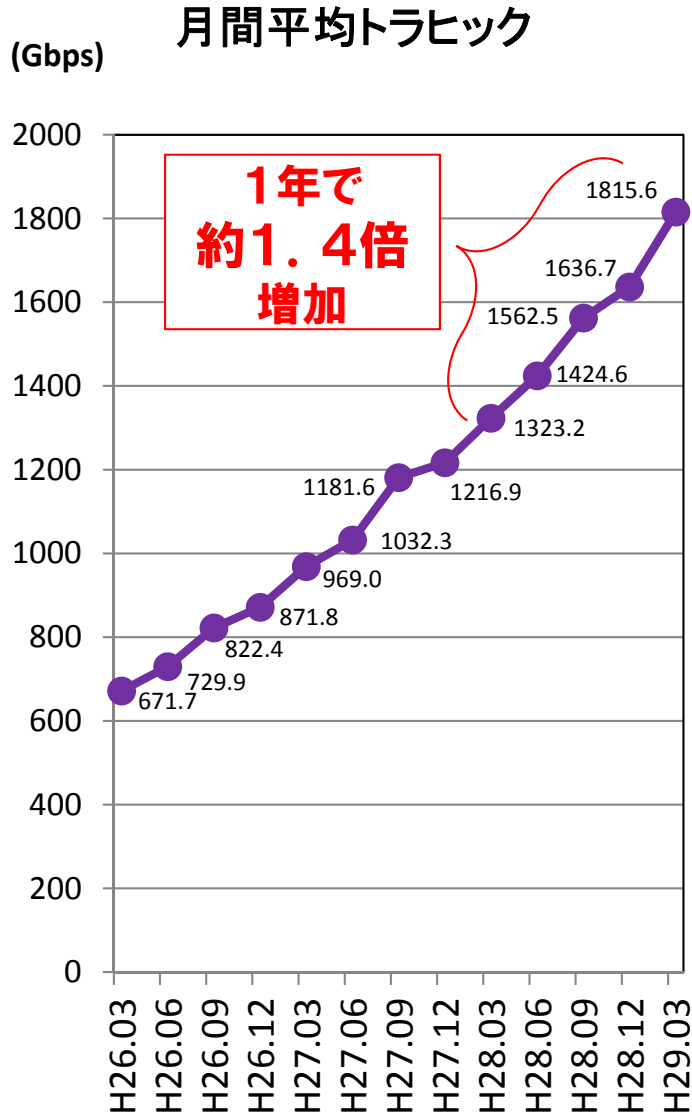
(月間平均トラフィックは、直近1年で492.4 Gbps(約1.4倍)増加)

○1加入者当たり、月間で2,886 MBのデータをやりとりしている。

○携帯電話事業者3者に占めるLTEトラフィックの割合は約96.2%である。

(LTE加入者数約10,227万(3者の加入数全体に対する比率は約62.8%))

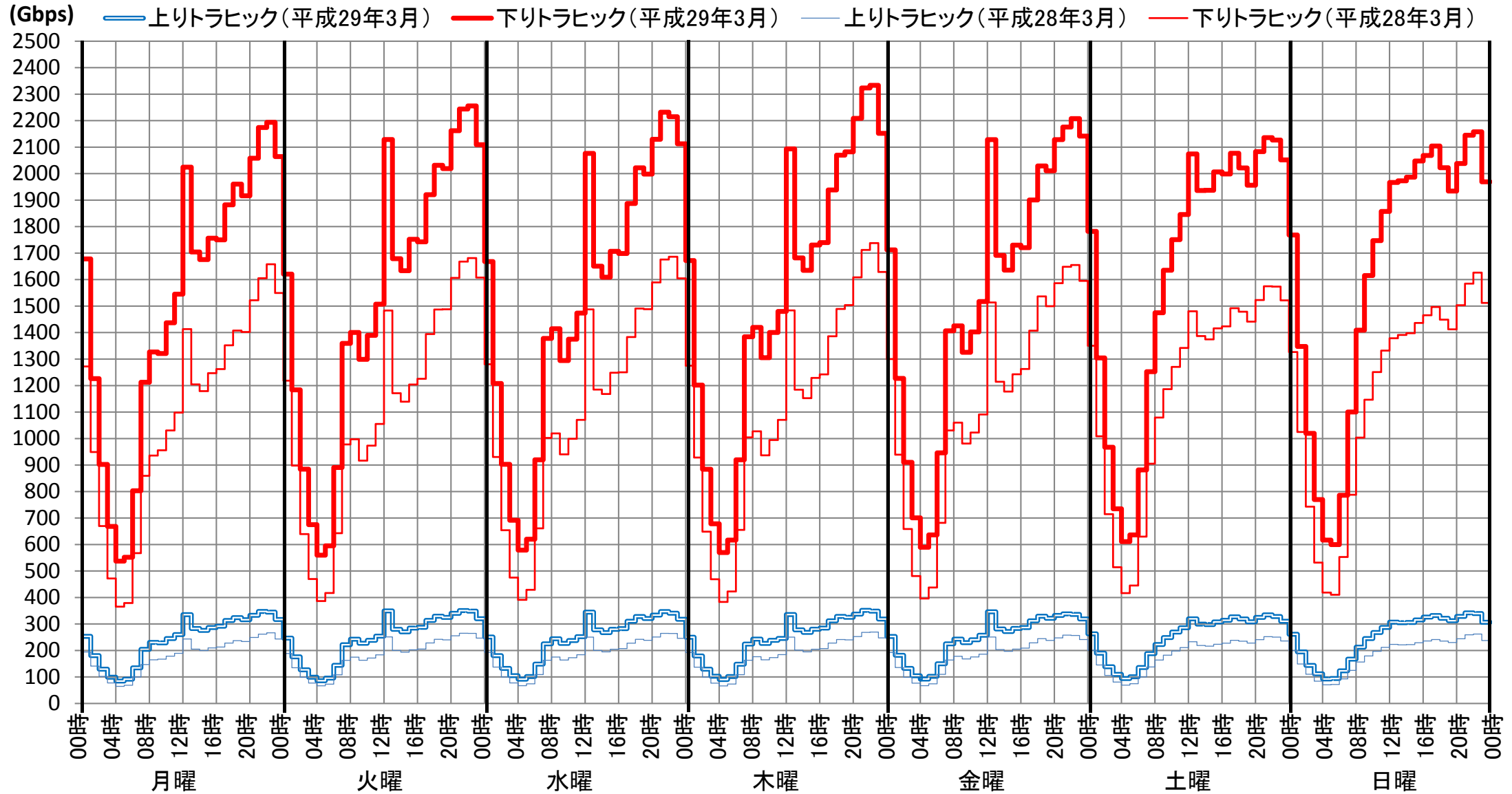
移動通信トラヒックの推移(過去3年間)



○月間平均トラヒックは、直近1年で492.4Gbps(約1.4倍)増加している。
 (加入者数の増加や各社における大容量プランの導入が主要因と推測される。)

【注】平成28年3~12月分の事業者報告に修正が生じたため、一部のデータを修正致しました。なお、修正箇所には下線が付してあります。

移動通信トラフィックの傾向



○ 前年同時期と比較して、移動通信トラフィックの傾向に特段大きな変化は無い。

- * 上り方向と下り方向とで同様の变化傾向
- * 平日は、朝から夕方にかけて徐々にトラフィックが増加し、昼休み帯に一時的なピーク
- * 休日は、朝から昼にかけて急激に増加し、その後夕方にかけて微増
- * 平日・休日ともに、夜間帯にトラフィックが増加し、21時～23時ころにかけて最大